

資料配布場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

令和元年12月20日
国土技術政策総合研究所

令和元年度国総研関係 補正予算等の概要 ～防災・減災、国土強靱化に係る研究等の実施～

国総研では、令和元年度補正予算案において、台風第15号及び第19号により顕在化した新たな課題に対応するための防災・減災、国土強靱化に係る研究等のための経費を計上しています。また、令和2年度当初予算（臨時・特別の措置）において、重要インフラの緊急点検結果を踏まえた国土強靱化に係る調査研究等に係る経費を計上しています。

1. 概要

- 令和元年に発生した台風第15号及び第19号により、従来想定されなかった大規模かつ広域的な風水被害が発生しました。これらの被害により顕在化した新たな課題に対応するため、国総研が保有する実験施設等の機能強化等を図るとともに、国の技術基準改定等のための調査研究等に係る経費を令和元年度補正予算案に計上しています。
- また、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震等による被害を受けて実施された「重要インフラの緊急点検」の結果を踏まえ、国総研では、被害メカニズムの解明や対策の検討等、国土強靱化に係る調査研究及び施設整備に係る経費を令和2年度当初予算（臨時・特別の措置）に計上しています。

2. 予算案額（国総研研究予算関係）

令和元年度補正予算	780百万円
令和2年度当初予算（臨時・特別の措置）	418百万円

3. 実施項目

別紙「実施項目一覧」の通り

問い合わせ先

企画部企画課 課長 尾崎 悠太 課長補佐 音瀬 肇
TEL : 029-864-2674 FAX : 029-864-1527

<実施項目一覧>

●令和元年度補正予算

課題名	概要
下水処理場の応急復旧対応を再現可能な下水処理実験施設整備及び検討	下水処理場機能喪失直後の緊急措置段階における運転及び施設設計手法の提案のため、下水性状の変化を再現可能な変動槽等を備えた実験施設を整備し、被災直後の速やかな対策手法を明らかにする調査研究を実施する。
洗掘の被害を受ける可能性が高い道路橋の抽出と改造マニュアルの開発	道路橋の洗掘被害に対する迅速な復旧対策と長寿命化に向けて、既設橋梁を出来るだけ活用した形で被害リスクを下げ、かつ、同時に長寿命化を図るリノベーションを行うための調査・設計法を開発するための研究を実施する。
建築物の外装材及び屋根の耐風性能向上に資する調査研究	建築基準法令の強風に関する構造関係規定のあり方を明確化し、耐風設計の整備を促進するため、各種外装材や木造屋根の耐風性能の向上のための調査研究を実施する。
高波浪に対する海岸構造物の構造検討を行うための水理実験施設の機能強化	設計規模を超える高潮・波浪に対して粘り強い海岸堤防の具体構造を提案するため、設計規模を超える高潮・波浪を再現可能な実験施設を整備する。
無電柱化の早期実現に向けた無電柱化技術実験施設の機能強化	無電柱化の施工効率化・工期短縮を可能とする電線類の地中化構造・新材料・施工方法等のマニュアル等への反映のため、無電柱化技術実験施設の機能強化を実施する。
道路構造物の修繕における要求性能と性能評価手法の開発	老朽化した橋梁・トンネルの適切な修繕に向けて、道路構造物の修繕技術等の性能を評価するために必要な実験フィールドや多軸の載荷試験方法の開発を行う。

●令和2年度臨時・特別の措置

課題名	概要
下水道の実現場を再現可能な管路実験施設の新設	下水道管内調査機器の要求性能の検討、大雨時の下水道マンホール等の施設被害対策の考案等のための実験施設を整備する。
下水道管路の防災・減災技術の開発に関する実態調査	下水道管内調査機器の要求性能の検討、大雨時の下水道マンホール等の施設被害対策の考案等のための調査研究を実施する。
免疫性を考慮した降雨指標に応じた崩壊生産土砂量の予測に関する検討	過去の降雨履歴（降雨の免疫性）が斜面崩壊に与える影響を考慮した崩壊生産土砂量の予測精度の向上のための調査研究を実施する。
斜面・対策施設下部が全面的に水没した場合の崩壊危険度の評価手法の検討	水没リスクのある地域における急傾斜地崩壊対策施設の機能評価を織り込んだ危険度評価手法の提案のための調査研究を実施する。